

一途一心

題字 一途一心 揮毫 愛大附属小非常勤講師 竹田 敏行 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 松山市立西中学校
- (3) 地区教育会だより(上浮穴)
- (4)(5) 特集 本とわたし
- (6) 九十九歳・八十歳慶祝者
- (7) 教育会会員による学習支援④
- (8) ふるさとスケッチ

日本人として大切なこと



元 愛媛県小中学校長会副会長
榊田 嘉津雄

最近の新聞紙上には、毎日のように親による子どもの虐待、いじめによる殺人、親子関係のもつれによる尊属殺人、企業による不正、政治家による不祥事等々枚挙にいとまがない。

いつごろからそうなったのだろうか、高度成長期頃から段々と家族関係が崩壊し始め核家族化と共稼ぎ家庭が増え(女性の社会進出が悪いというのでは無い)、児童が学校から帰っても誰もいない鍵っ子が増え始めた頃からではないだろうかと思う。

家庭での躰に關してでも、子どもの顔を見ないでスマホをしながらの注意、子どもと同時に登校寸前に起床する親、早く早くとせかすだけで、何をどうすればよいのか解らない指示。こんなことでは、親に対する感謝の念も薄れるのではないだろうか。少なくともしかり正面から顔を見て、登校前には、朝食がとれる準備と時間の確保をするのが親の務めだとも思う。

日本人文化は「恥」と「辛抱」の文化だとも言われる。近くに誰も居なくても、悪いことをしたら「御天道様」が見てると言って我々は育てられた。そのことは、何か問題を起こしたら、世間に対して家として「ふう」が悪いと、親子だけでなく、家族全体、広くは親戚までもその責めを負う風潮があった(善し悪しは別として)。少なくともそのことが問題を起こさせぬ抑止力でもあった。

少子化で、核家族化が進む中、子どもを溺愛する親が増えるのは仕方がないとしても、自分の子に遠慮して見て見ぬふりをしたり、同じ事をして怒ったり怒らなかつたりする親が増えている中で、どこかで、誰かが子どもたちの健全な成長を願うために、地域に住む我々教育に携わったものたちが、「御天道様」になって、誤った行動をする子や親たちに、嫌われてもいい、声がけをしなれば、社会の一番大切な家というものが築けなくなるのではないかと心配する老人の一人である。

一略 歴一
(さかきだ・かつお)
昭和四十二年 國學院大學卒業
平成 九年 伊予三島市立豊岡小学校長
平成 十一年 伊予三島市教育委員
平成 十三年 伊予三島市立松柏小学校長
平成 十五年 伊予三島市立三島小学校長
平成 十七年三月 定年退職

聞 び 響

「マンホールの蓋はなぜ丸い?」こう問われれば、「それは、蓋が穴の中に落ちないようにするためよ。」そして、その理由についての蘊蓄が始まる▼丸い理由は他にもあるようで、「圧力に対して最も強い形状であること」「穴を掘るときに丸い穴のほうがりやすいこと」「丸いほうが転がって移動しやすいこと」等々▼国土交通省では、今年四月から全国二十八の都市で、マンホール蓋のコレクションカード「マンホールカード」なるものの配布を始めた。続いて、八月より第二弾として、四十都市での配布を開始している▼蓋の実物のコレクションは大変だが、これなら手軽に始められそうである。既に、各地で、限られたスペースに、地域の特徴を表現し、味わい深いデザインを写真に収めている方も多く思う▼マイクロソフト社の入社問題は「ビルゲイツの試験問題」と言われるが、このマンホールの問題もよく引き合いに出される。作られた物や形には、必ずそれなりの理由があり、普段見過ごしてしまいがちなことにも、注意を払ってみていかどうか。さて、時計の長針と短針は、一日に何回重なる?

ひとりと

一枚の写真から
「四国の一〇〇〇
メートル峰」へ



愛媛県 松山市立西中学校 校長 益一 新家

私の学生時代の友人が、「四国の一〇〇〇メートル峰」という本を出版しました。彼は徳島県吉野川市在住の林業技師ですが、一九七五年に石鎚山、瓶ヶ森に登ったのを最初に、二〇一一年高知県馬路村にある汗谷山登頂により、四国の一〇〇〇メートル峰を全て登り終えました。もちろんその間、日本の中央の山々やヒマラヤにも遠征しています。

福岡県育ちの彼が四国の山に興味を持ったのは、高校時代山岳部室で見た瓶ヶ森の写真でした。瓶ヶ森は、標高一八九七メートル。愛媛県西条市と高知県の境にあ

る山で、石鎚山、二ノ森に次ぐ愛媛県内では、第三位の高峰です。日本三百名山の一つでもあり、私も好きな山です。瓶ヶ森の山頂の西側には、ウラジロモミの林、白骨林の点在する氷見二千石原、その向こうに石鎚山を望むことができます、景観の美しい山が、一人の高校生を魅了したのでした。彼は高校卒業後九州から四国に渡り、それから実から三十七年かけて、四国の山を一山ずつ登っていったのです。一九八七年には、その一歩として「阿波の一〇〇〇メートル峰」を出版しています。何かのきっかけがあれば、人は足を前へ踏み出します。強い刺激は、新たな活動の源となるのです。しかし、目の前の事象を漫然と見ていたのでは、新たな発見はなく、感動も生まれません。何を見るのか、どこまでを見るのかで、新たなスタートを切ることができます。このことを子どもたちの支援に生かしていきたいと考えています。

(松山市立番町小学校校長)

学校紹介

No.172

松山市立西中学校

空港通大清掃

松山市立西中学校は松山空港の傍にある。そのため、多くの生徒が通学や、普段の生活において空港通を利用して。本校ではその空港通を自分たちの手できれいにするために毎年「空港通大清掃」を行っている。

集会が終わるといよいよ「空港通大清掃」が始まる。まず学年ごとに集まりそれぞれの場所へと散開していく。三年生は、空港に向かって、二年生は空港の反対側方向に広がって各クラスごとに活動を行う。一年生は学校内の清掃をするので、外に出て行く先輩をうらやましそうに見ている。時間は四十分。遠くに行くクラスは安全に気を付けながらも我先にと担当場所へ向かって行く。黙々と作業をする生徒、友達と協力し、楽しみながら清掃する生徒、最初は渋々ながら段々熱中する生徒、活動の様子は様々であるが、クラスごと、学年ごと、そして、全校みんなが集めたゴミが二百袋にもなるのを見て、どの生徒も達成感に満ちた顔を始める。

大清掃が行われる日、昼休みに着替えを済ませた生徒が体育館に集まってくる。「空港通大清掃」は、まず美化委員会の集会から始まる。身近な環境問題に興味をもち、この後の活動がより充実したものであるようにするためである。美化委員会の発表が終わると「空港通大清掃」の意義や目的、諸注意などが美化委員会から伝えられる。この時、普段は何気なく通っている空港通にたくさんのゴミが落ちていたり、アスファルトの間から雑草が生えていたりするのを知って驚きの表情を浮かべる生徒もいる。

活動後の感想に「私が集めたゴミは少しだったけれど、全校みんなが集めた量は信じられないくらいたくさんあった。そのゴミの分だけ空港通もきれいになったんだと感じた。せつかく自分たちできれいにしたのだから、これからもきれいな空港通であってほしい。」とあった。多くの生徒が、この活動を通して、自分の町に愛着を持ちはじめた。そしてこれからも、その気持ちを忘れずにもってほしい。



(教諭 澤木 一敏)

題字に寄せて

いちず いっしん
一途一心



愛媛大学教育学部附属小
非常勤講師
竹田 敏行

「一途一心」とは、ひたすらひたむきということ。一つのこと命を懸けることともいえる。あらゆる道、あらゆる事業を完成させる上で、欠かすことのできない心的態度である。物事の成功は、このコア(核)なくしてはあり得ない。「イエローハット創業者 鍵山秀三郎氏の言葉」
最近、特にこのことばにひかれます。イノベーションの時代であっても、仕事を成功させる根本理念として、忘れてはならないことばだと思えます。
教育の世界においても、よりいっそう、地道にコツコツと実践をつみ重ねることが大切でしょう。

地区教育会
だより

上浮穴教育会

地域のバス会社と
研修旅行



上浮穴教育会
OB
石丸 常

三十年を超えて私たちの研修旅行を支えてくれた地元バス会社が経営を終了しました。

このことに感謝を込めて思うことが多々あります。

研修旅行は、組織への所属感や連帯感を培う大切な機会であり、更に楽しい情報交換の場でもあります。

高原バスの宮岡さんは、プロの技術は勿論、乗客への安心・安全対策・心遣いが抜群の対応でした。

宮岡さんの行動が、乗客相互の融和と旅の楽しさをつくる助けともなっていました。

高原バスは、町内諸団体、小グループ、個人等利用客が多く、年中無休のように感じられる程でした。



地域の企業が長期間に亘り評価が高かったのは、そのための企業努力が並みではなかったためでしょう。
利用者の皆さんは、同じ思いだろうと思います。
地域からこのバスがなくなると、大勢の人たちが不便になります。時代の波なので如何ともし難いことです。
人口減や環境等諸事情が右肩下がりに推移している中で永年続けた諸活動を絶やさず頑張る以外ありません。
国が「地方創生」を謳っている如く、私たち自身も「我が地域創生」のために力を合わせなくてはと思っています。

ローカルトピックス

堤防決潰記念碑

西条市禎瑞、龍神社西方に、堤防決潰記念碑がある。

此処明治廿六年十月十四日暴風強雨の為に荒波起り、堤塘長九十四間破れ、さし入る潮に家屋は高く檐を浸し、田畑は深く波底に沈み、実れる稲穂は長く五十日間潮下となれり、抑、此堤塘は都て三重に畳みて築立てしものなれば、百二十余年の久之歳動くことなければ、いかなる高潮波荒れにも心安く思ひ居たるに、図らずもこの災ひに罹れり、今より後も天災ははかりかたければ、努め忽かせにすへからず、茲に其概略をしるし、後のいましめと為すもの也。

維時明治三十年一月
新居郡橋村大字禎瑞

規模の壮大さで群を抜く禎瑞新田は一七八一(天明元)年完成、百二十年後に大災害に見舞われた。記念碑は現代の我々に「天災ははかりかたければ、ゆめゆるがせにすべからず。」と訴える。

(文教月報編集協力委員 塩出 光治)



俳画・水墨画教室
西島 節子 作

特集 本とわたし

八雲吟社開講 三十周年記念 漢詩作品集発刊



新居浜教育会
OB
横山 功大

八雲吟社に入会したのは平成十七年四月。元角野中学校長佐原光蔵先生に勧められてのことでした。当時は月一回、愛媛県漢詩連盟会長伊藤竹外先生が師範として指導してくださり、漢詩を赤々と添削されていきました。今はなつかしい思い出となりました。講話では「花は清香により愛せられ、人は仁義をもって栄える」の言葉に出会いました。人を大切に正しき生き方をすれば栄えるという武市瑞山の漢詩です。竹外先生は漢詩の上達には多読、多作、多商量(多聞考)の三多が上達のもととおっしゃいました。三百漢詩を作って一人前と

も教えていただきました。私は十一年目となり、三百近く作詩したことになりましたが、作り方は理解できたものの、力不足で浅学非才であります。

三十周年漢詩作品集の作成に昨年からは会員七名が推敲を重ね八月に完成となりました。その中の一詩を紹介します。

新居浜太鼓祭
金波 稲穂 祝 年豊
神域 巨樟 雙 一宮
絢爛 豪華 龍 躍動
鑿鑿 太鼓 響 長空

上平声 東韻

新居浜太鼓祭
金波 稲穂 年豊を祝し
神域の巨樟 一宮に双ぶ
絢爛 豪華 龍 躍動すれば
鑿々たる太鼓 長空に響く

金波の稲穂が豊年を祝い、一宮神社の巨樟が参道にならぶ。絢爛豪華な太鼓台が躍動すれば、太鼓の音が大空に響くという漢詩であります。

今後も多く先生の指導を仰ぎながら研鑽を続けてまいります。その上漢詩の仲間が増えることを期

至福のとき



小島三論
大論輝美
今治市教
多田

待している今日この頃です。

長く小学校の図書館担当をしています。新年度になって子どもたちにも購入してほしい図書のアンケートを書いてもらい、選書の参考にしています。子どもたちは、あれこれ思いをめぐらせて、書いてくれます。そして、一か月後新しい図書が届くと自分が希望した本があったと喜んでくれる子どもがいます。図書館担当として、とてもうれしく思います。子どもたちに新しい本の情報を教えてもらうこともあります。本を通して子どもたちとつながるうれしさを感じています。

先日、私も以前から読みたかった本を見つけました。『舟を編む』です。大好きな川上弘美さんの本もありました。私たちが子どもの頃とは違い、図書室には、多様なニーズに応えて様々なジャンル

の本が入っています。地域の公立図書館の方による読み聞かせも定期的にあります。読書への良い刺激が、たくさんある子どもたちですが、中には、あまり本を読まない子どもたちもいます。読む子と読まない子の二極化が進んでいることは、かなり以前から問題になっていきます。あまり本を読まない子どもたちに図書室に来て、本を手にとって読むために、子どもたちが読みたい本を入れること、忙しい子どもたちが本を借りやすいよう、昼休みだけでなく、朝、登校してからも自由に図書室に来られるようにしていきます。子どもたちが、夢中で本を読んでいる姿を見るのは、私の「至福のとき」です。

古文書を読む



山形市教育会
OB
菊池 巧

私は現在九十一歳である。退職後いろんな趣味に挑戦したが、最後まで残った一つに読書がある。

平成十三年から読書記録をつけている。最近五年間で読んだ冊数は、平成二十四年一〇四、二十五年九十六、二十六年九十二、二十七年一〇三、二十八年七月末で六十三である。年間一〇〇冊以上を目標にして、読んでいきたい。

最近私のはまっているのが、古文書解読である。古文書を読むと、昔の人々の暮らし、考えなどがよく分かる。歴史書を読むのとは違ったおもしろさがある。ところが、古文書解読にはいくつかの壁がある。漢字は基本的に旧字体。標準字体のほかに、そうでない異体字がかなりある。仮名は旧仮名づかい。標準の仮名のほかに、それぞれ複数の変体仮名がある。ほかに、略字・略号がある。文章は、くずし字で書かれている。これは、早く書くためである。昔の人は寺子屋で一通り勉強すれば読めていた文書が、今の人には難解になっている。

私は県立図書館で毎月一回開催している古文書解読講座で勉強しているので、ある程度は読める。現在県立図書館

に保管している古文書について、解読を試みている。かなりは読めるが、読めない箇所が残る。また字は読めても意味が分らないければ、本当に読めたことにはならない。それらを克服するべく、努力している私がいる。

「路上」に佇んで



伊予教育会OB
谷井 紀夫

人間は積極的な方がいい、前向きな方がいい、心が健全な方がいい、それは当たり前のこと。でも、自分がそういう人間ではないとしたらどうなるの？

私が高校生の時、国語の教科書にこの「路上」(著者・梶井基次郎)が載っていて、とてもショックを受けました。ごく短いこの小説は、雨上がりの午後、赤土の泥道を滑り落ちていく自分に、その先が崖になって止まらなければ大変なことになるという状況に、破滅の一つの姿を見、あろうことか魅せられてしま

うという、心の真実を描いた作品です。ああ、消極的で後ろ向きで心がひねくれている自分でもいいんだ、ありのままでもいいんだと安心させてくれました。この小説と出会ってから国語が好きになったように思います。

でも、心配しないでください。梶井基次郎の小説には、仮想テロとも言うべき代表作の「檸檬」もそうですが、よく読み深めると、健全な視点がちゃんと盛り込まれていますから。それは、電池のプラスとマイナスの関係のようなものだと思います。評論家の言葉を借りれば、「病める生の表現」は「清澄な生の息吹き」にほかならないということです。

「路上」と出会ってからもうすぐ半世紀。余生という路上に佇んで、私は何を考え、

どう生きようとしているのでしょうか。高校に勤めている今、妙に「路上」が懐かしく思い出されます。

読心書



小淵市論
宇和島教
米田 英子

「もっと早く出会いたかった。」当時、大学一年生だった私は、思わずつぶやいた。それ程の衝撃を受けたのが、三浦綾子の「塩狩峠」であった。

小学校時代は、お決まりの少年少女文学全集や心わくわくする冒険ファンタジー、中学・高校時代は、推理小説や星新一のショートショート、モンゴメリの「赤毛のアン」シリーズなどに夢中になった。だから、読書傾向として

は、いわゆる乱読である。

単純に本のストーリーを追いかけるだけで、読んだ後の感想も薄っぺらいものであった。

しかし、「塩狩峠」の読後、主人公と自分の生き方について内省する機会を得た。この小説は、北海道の塩狩峠で発生した鉄道事故を元に書かれたフィクションである。客車の連結が外れ、坂道を暴走する列車。そのとき、鉄道職員の主人公が、線路に飛び降り、自分の身を以て車輪を止める。つまり、自らの命と引き換えに乗客の命を救うのである。仕事への使命感なのか、絶対的な自己犠牲なのか。彼の行動は、混沌として明確な答えが出せない苦しみを生んだ。あくまでも創作であるから、美化され、誇張された部分もあるだろうが……。

読書の醍醐味は、他人の生き方を自己体験できることである。からみもつれた糸を根気よくほどくように、消化していくおもしろさと切なさ。読書は、果てしない憶測の渦の中で、言い知れぬ余韻に浸るうごめきを体験させてくれるものである。

文教俳句

—俳句ポストより—

空襲の夜のごと花火炸裂す	今治市	中矢	尚子
かたつむり私の曲で月を出した	松山市	吉田	和奏
孫が来て子が来てえびね花におう	松山市	佐伯	豊樹
推若葉城址の森を覆いけり	西予市	窪内	貞丸
春の森おはようおはよひびいてる	広島市	菊池篤之介	
新寺や静寂遊ぶ夏の風	松山市	井上	弘子

あんしんむすぶ 教職員共済生協

- 死亡・入院・特定の病気 3つの「もしも」に備えて
- 予期せぬ火災・住宅災害・自然災害に備えて
- いきいきとしたセカンドライフを目指して

トリプルガード
火災共済
自然災害共済
年金共済



資料請求は下記へ。お気軽にご連絡ください。

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所
〒790-8545 松山市祝谷町1-5-33 (愛媛文教会館内)
☎089-998-2141 http://www.kyousyokuin.or.jp/



愛媛マラソン

2017.2.12開催

参加される教職員の方にTシャツを進呈予定!

詳しくは下記までお問い合わせください。

教育振興事業
福祉事業
共済事業

奨学事業
教育研究助成事業
教育文化事業

(提携保険事業)



公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8359 FAX(089)932-8357

平成二十八年度 九十九歳・八十歳慶祝者

白寿・傘寿おめでとうございます。記念品と御祝詞をお贈りしました。ますますの御健康と御多幸をお祈りいたします。

《九十九歳慶祝者》(九名)

四国中央教育会 毛利 徹様 白石 桂子様 池田 孝許様

三好 吉子様 井原 愛子様 佐藤登美子様

東予周桑教育会 篠塚 タツ様 東予周桑教育会(四名)

松山市教育会 堀内シゲ子様 渡部 哲也様 桑原 敏様

伊藤 深様 坂井ミヤ子様 岡 郁子様 玉井 要作様

大洲市教育会 常盤井忠香様 今治・越智教育会(二〇名)

北宇和教育会 山本 富枝様 藤原 英樹様 安部 安博様

《八十歳慶祝者》(二六四名)

四国中央教育会(八名) 山本 眸様 菅 孝夫様

森實 芳江様 井川 清子様 矢野 庄志様 橋田 均様

飛鷹 和子様 合田 宏明様 仙波 治亀様 村上タカ子様

長野 節子様 石川 武様 手塚 尚文様 藤田 邦男様

岡本 澄子様 高原壽々子様 別府 学様 井手上秋美様

新居浜教育会(二三名) 御手洗 稔様 天野 剛史様

横井ヒサ子様 高橋 元彦様 柳原 丈廣様 野田 公子様

村上 満様 関 章恵様 藤原 米子様 越智 英子様

山内 義男様 山本 和一様 久保田淳子様 藤田 妙子様

今井 忍様 細川 準一様 客野 壽雄様 客野 照榮様

近藤 朝男様 一色 康範様 菅田 顕様 尾上 孝様

村上 昭様 一色 幸様 平岡 澄子様 高月 昌幸様

西原 洋昂様 保田 總子様 藤田ユリ子様

西条教育会(九名) 合田 重則様 安永 壽様

今宮 峨様 宮島 俊子様 津守 秀子様 森田 章夫様

白石 順子様 三浦 宏介様

井上 静子様 梅木 圭子様 野本 和伯様 岩井 倫郎様 木村 卓生様 上浮穴教育会(二名) 三好 史雄様 安川 俊二様 宮内 守繁様 大西 修一様 遠藤 俊男様 柴田 隆様 大洲市教育会(一二名) 岡田 武博様 村井 功様 徳田 守様 久保 史朗様 野本 静雄様 朝雲 暁美様 鎌田多加義様 藤岡 則子様 森 二朗様 川口 博子様 藤岡 教彰様 富永 忍様 大森 光三様 野尻 精一様 神田 信夫様 大川正太郎様 川端 一志様 大堀 昭夫様 町野 穰様 伊賀上圭介様 玉井 俊幸様 東温市教育会(五名) 内子教育会(二名) 明星 方夫様 銚岩 庄市様 源田 恒雄様 竹本 裕様 中矢 清様 和田 桂子様 八幡浜教育会(七名) 青井規久子様 伊予教育会(一七名) 柳田 勇様 関 包様 田中 定彦様 稲垣 清様 原田 修様 西田 雅子様 矢野 忠士様 村井 義昭様 武田千津子様 西予教育会(七名) 笹田 要様 鈴木 怜様 大谷浩太郎様 岡本 寛郎様 向井 正孝様 三好 英樹様 矢野 重明様 尾上 稔様 高橋 保則様 赤星 皓一様 大塚 雅美様 菊澤 富子様 平井 屯様 平井千代榮様 田中 龍照様 永井 政子様 神野 静子様

祝 受章おめでとびになります

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

櫻田喜志男様 88歳 元川内町立川上小学校長 松山市

宮岡賢二郎様 88歳 元内子町立大瀬小学校長 内子町

松本 徳園様 88歳 元八幡浜市立白浜小学校長 八幡浜市



クリーニング 株式会社 清水屋

竹原工場 松山市竹原3丁目13-11 (〒790-0053) 電話(089)941-7388(代)
高井工場 松山市南高井1701 (〒791-1112) 電話(089)976-1511(代)
中洲工場 松山市中村1丁目3-52 (〒790-0964) 電話(089)941-8593
大今治工場 大洲市徳森字小島越1254 (〒795-0061) 電話(0893)25-5971
今治工場 今治市山路456-1 (〒794-0072) 電話(0898)24-2455
松山サービス 松山市南高井1701 (〒791-1112) 電話(089)976-6688
東温工場 東温市吉久311-1 (〒791-0302) 電話(089)966-6866
東温工場 東温市田窪41-12 (〒791-0212) 電話(089)955-1570

宇和島教育会(一〇名) 篠原 友子様 善家 勝三様 草原 勲様 岡田 浩様 平林 吉彦様 古谷 健二様 杉本 光恵様 土居 幸春様 藤田 貞文様 二宮 四郎様 北宇和教育会(七名) 上甲 武英様 稲屋 禮子様 水谷 恒様 松永 光雄様 武田 浅美様 増田 善吉様 眞田 容子様 南宇和教育会(六名) 原田 祥年様 時岡 慶周様 池田 健志様 高津 環様 加州 史朗様 松田 守隆様

教育会会員による 学習支援 その④

「傍にいます」という ボランティア活動 とべつ子志縁倶楽部

伊予教育会
理事 田中 弘

一 きっかけ

平成二十五年四月、新築間もない砥部中学校に赴任しました。来客のだけれども驚くほどの素晴らしい校舎でした。これだけの校舎を生徒と先生だけで使うのはもったいない、日常的に地域の方に学校に来ていただけないだろうかと思い巡らせていました。

二学期中頃、生徒の学校生活のようすや先生方の働く姿を見て、「学校支援ボランティア」をお願いしようと考えました。教頭、事務長、二人の主幹教諭に説明し、十二月発足を目指し準備しました。

二 目指す方向性

近江商人の哲学、三方よし「売り手よし、買い手よし、世間よし」の精神で、子どもよし先生よし

学校よし
保護者よし
ボランティアよし

砥部町よし
を目指し、ボランティアグループの名称を「とべつ子志縁倶楽部」としました。

三 活動内容

(一) 学習活動支援

主に技能教科の授業に入り、生徒の学習活動を支援する活動。

(二) 登下校の安全確保支援
月二回、学校が行う登校指導をボランティアも一緒に行う活動。

(三) 学校図書館運営支援
昼休みに開放している図書館で図書貸し出し等の運営支援を行う活動。

平成二十六年からは「放課後学習講座」が始まりました。

毎週二回(火・木)、放課後三十分、希望する生徒がそれぞれの課題に取り組み学習活動を見守り支援しています。

受講生は三学年合わせて次のとおりです。

平成二十六年度 三十五名
平成二十七年 四十三名
平成二十八年 四十七名
(募集締め切り時の人数)

四 成果と今後の展望

現時点で次のようなことを感じています。

○生徒が主体的に活動している。

○学校内が和やかな雰囲気になっていく。

○保護者から期待されている。

○教職員からも好評。

○地域ぐるみの子育ての雰囲気醸成している。

○ボランティアが楽しんでいる。

現在二十八名のボランティアで活動しています。内訳は保護者、地域の方、元教員がほぼ三分の一ずつです。今後

は砥部町全体に活動を広げることを見込んでいます。

そのためには行政との連携やボランティアの増員が課題です。現在、教育会会員のボランティアが七名います。この活動を通して会員が増えることを願っています。



お知らせ

◆今月のロビー展

文教会館一階ロビーにおいて、九月・十月の二か月間、米山顕彰会のご協力により、「三輪田米山作品展」を開催しております。「これも米山の作品なの?」「これこそ米山だ!」等の作品を展示しております。

郷土の書家に誘われ、今年の秋のひとときを「書の鑑賞」で過ごされてみてはいかがでしょうか。

No.2

藤田さんの法律豆知識

自分の思いを残すため、また、残しておいてほしいためには、六月号のご案内には、六月号のご案内のとおり、遺言という方法があり、一般的に利用されるのは、公正証書遺言と自書遺言です。

では、この二つの違いは何かというと、簡単に言えば、有料で公

証人に作成してもらい、死亡時に相続人が、その証書を金融機関や登記所に持参すれば、内容を実行することができるのが公正証書遺言です。

すべてを遺言者が自書して作成し、死亡時に関係者が家庭裁判所に遺言書を持参し、相続人にも通知され、検認手続を経て、内容を実行することができるのが自書遺言です。

公正証書遺言は、間違いはないのですが、自書遺言の場合、何を、誰に相続させるのか。日付、署名、押印がされているかなど、大事なところを間違わないようにする必要があります。

遺言も完全ではない部分が残ります。そう、遺留分の制度です。次回それについて、ご説明したいと思います。

赤橋

ふるさとスケッチ

No.393



内子町内子中
教諭 福岡 眞一

人生を振り返る年齢に
さしかかりました。喜多
郡では三校にお世話にな
りましたが、長浜中での
泣き笑いの十年間は忘れ
ることができません。
マラソンをやり始め、
この橋も何度も走りまし



た。ここで飯川あらしに出く
わすと、それは強烈な寒さで
す。夏の思い出は、潮の香り
とコントラストの強い鉄骨の
影。この八十二トンの巨大な
塊がおもりとなって、跳ね上
がった可動桁とのバランスを
取るのです。
赤橋を見上げると、あの頃
の日々が思い出されます。

ご冥福をお祈りします

松原 道夫様	95歳	松山市清水町四丁目四二	28	7	28
東 興三郎様	88歳	喜多郡内子町五十崎七五〇一	28	7	31
星野 宏輝様	69歳	宇和島市保手四七二二	28	8	2
菅原十六子様	87歳	今治市宮窪町宮窪六四八一	28	8	4
長田 照子様	90歳	南宇和郡愛南町御荘平城二六七〇	28	8	7
石黒 功宜様	90歳	新居浜市大生院二九七二二	28	8	11
野上 裕治様	55歳	東温市下林甲五七	28	8	15
佐伯 敬續様	90歳	西条市丹原町湯谷口甲三三〇一	28	8	19
向井ヨシノ様	86歳	喜多郡内子町内子三三〇四	28	8	24
村上 玉城様	87歳	宇和島市吉田町立間尻甲二〇六一	28	8	27
野口多喜夫様	96歳	松山市浄瑠璃町四〇	28	8	28
中尾 茂賀様	86歳	南宇和郡愛南町御荘平城三〇六	28	8	30

地区教育会会員数

H28：平成28年7月29日現在
H27：平成27年8月10日現在

地区教育会	現職会員		退職会員		賛助会員		計	
	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27
四 国 中 央	486	491	321	323	48	48	855	862
新 居 浜	591	596	404	411	47	46	1,042	1,053
西 条	287	294	177	185	4	6	468	485
東 予 周 桑	333	330	219	229	22	22	574	581
今 治 ・ 越 智	856	871	555	556	48	46	1,459	1,473
松 山 市	2,117	2,171	946	979	24	24	3,087	3,174
東 温 市	184	184	109	106	8	8	301	298
伊 予 市	481	502	245	254	120	123	846	879
上 浮 穴	89	89	65	65	16	16	170	170
大 洲 市	333	341	279	285	14	14	626	640
内 子 市	146	149	80	79	12	12	238	240
八 幡 浜	269	280	214	217	22	22	505	519
西 宇 和	94	100	50	51	7	1	151	152
西 宇 予 島	273	291	274	288	57	70	604	649
宇 和 島	503	524	284	288	94	100	881	912
北 宇 和	130	134	97	101	35	35	262	270
南 宇 和	201	210	147	143	59	60	407	413
附 属 会	84	85			10	9	94	94
県 教 育 会					422	283	422	283
県 外			5	5			5	5
計	7,457	7,642	4,471	4,565	1,069	945	12,997	13,152

※地区退職会員数には、特別会員の人数（H28年57人、H27年64人）を含んでいます。

H26 13,355

サポート共済について

学校生協現職組合員様に万一の事（死亡や高度障害）が起きた場合、所定の保険金を年金形式でご遺族（高度障害の場合は組合員様ご本人）にお支払することにより、長期にわたりご自身やご遺族の経済的な支えとなる保険制度です。



毎年10月頃に保険会社が学校を訪問し、ご案内いたします。

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555

サポート共済の制度内容等については、パンフレットを必ず確認してください。

MY-A-15-LF-008062

お得な引越のご案内

愛媛県学校生協は（株）サカイ引越センターと提携しております。

学校生協組合員様とご家族の方の引越は、引越の基本料金から20%割引致します。

お見積りは無料です。



組合員様の異動や、子供さんの進学・就職の際には是非ご利用下さい！

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合